

交野の未来をいっしょに語り合う

ニュースレター

vol 4

**第4回 市民ワークショップ**

～私（私達）ができることを考えましょう！～

日時:令和3年12月4日(土)、10:00～12:00 場所:交野市役所別館3階中会議室

## ◆ 次 第 ◆

- 1 本日のプログラムの概要説明、前回の振り返り
- 2 テーブルワーク
  - (1) 内容の説明
  - (2) テーブルワーク
  - (3) 発表
- 3 今後の予定



当日の会場の様子

第4回は25人の方にご出席いただきました。

## ◆第4回市民ワークショップの内容

**1 本日のプログラムの概要説明、前回の振り返り**

- 第3回の内容を簡単に振り返りました。

**2 テーブルワーク**ステップ 1

○目指すまちの姿の素となる「良いところ、残念なところ」を確認しましょう！

- ・ 第1回WSの意見等から目指すまちの姿の素になる「良いところ、残念なところ」をマーカーで箇条書きにし、新たに考えた「良いところ、残念なところ」を書きました。

ステップ 2

○「目指すまちの姿」が実現したことを確認する方法を考えましょう！

- ・ 「目指すまちの姿」は、何が（誰が）どのような状態になれば実現したと言えるのかについて、これまでのワークを再整理しながら検討し、その内容を付せんに書き出しました。
- ・ 検討の過程で、必要に応じて「目指すまちの姿」を修正、追加、補足しました。

ステップ 3

○「私（私達）ができること」を考えましょう！

- ・ 目指すまちの姿を実現するために、明日からでもできる、「私（私達）ができること」を考えました。

ステップ 3

○各班の内容を発表しました。

## A 班：子育て・教育系

### 子どもが自ら学びたいと思えるまち

- 学校を訪れる人が増えている。(多くの市民が学校を活用)
- 学校のカリキュラムに自然・環境の科目がある。⇒交野の教育がメディアで報道される。

#### <目指すまちの姿が実現したことを確認する方法>

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育・子育てに充てられる市の予算が増える。(施策が充実される)</li> <li>○ 開かれた学校</li> <li>○ 学校を訪れる人が増える。</li> <li>○ 学校で地域の会議が行われている。</li> <li>○ 放課後に学校で民間企業が活動。</li> <li>○ 子どもが不安なく学習に取り組んでいる。(学校でなくても家などでも)</li> <li>○ 交野の教育がメディアで報道される。</li> <li>○ 中学生が小学生を教えている。</li> <li>○ 交野の子どもが何かしらの賞をとる。(学校が積極的に支援)</li> <li>○ 学生連携</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの貧困率が改善される。</li> <li>○ 環境・自然教育がカリキュラムにある。</li> <li>○ 子どもが自由に(危険などがなく)外で遊んでいる。</li> <li>○ 図書館の利用人数と貸出冊数が多い。</li> <li>○ 図書館が利用しやすくなる。</li> <li>○ 図書館へのアクセスがしやすい。</li> <li>○ 図書館の駐車場が増える</li> <li>○ 図書館のサービスが周知される。</li> <li>○ 子育て世帯の流入人口が増える</li> <li>○ 転入・転出時のアンケートで交野の教育について満足度(期待)が高い。</li> </ul> |
|--|--|

#### <私(私達)ができること>

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園の充実</li> <li>○ 見守り活動の実施</li> <li>○ 交通(道路)の整備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の強みを学校で教える。</li> </ul> |
|--|---|

### のびのび育てられるまち

- 子どもだけで行ける第3の場所がある。

#### <目指すまちの姿が実現したことを確認する方法>

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公園に人が多くいる。</li> <li>○ ボール遊びができるようになる。</li> <li>○ 親のいない公園。</li> <li>○ 人通りの多い所に遊び場がある。</li> <li>○ 大人が子どもに注意できるほどよい節介</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3の場所が市内に増える。</li> <li>○ 自然とふれあえる環境が身近にある。</li> <li>○ 子育てに関わる人が増える。</li> <li>○ 子どもの人通りが多い。</li> </ul> |
|--|--|

#### <私(私達)ができること>

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの自由な遊びを見守る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほどよいお節介</li> </ul> |
|--|---|

### 必要になったときに必要な分だけ支援を受けられるまち

- 情報が行き届く環境が整備されている。
- 顔を見なくても情報共有できる LINE グループ

#### <目指すまちの姿が実現したことを確認する方法>

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 誰でも必要な情報がいつでも手に入る。</li> <li>○ SNS をもっと活用</li> <li>○ ホームページ、広報誌より SNS</li> <li>○ (情報)何が行われているかがくどいくらい提供されている。</li> <li>○ 子育て情報や市民団体等の活動がホームページや SNS などいつでも見れる。</li> <li>○ 各種支援に関するまとめられた冊子がいつでも手にとれるところにある。</li> <li>○ 交野の子育てがメディアで報道される。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て世帯向けのイベントの充実と出席率の確保。</li> <li>○ 父親教室がある。</li> <li>○ 休日に教室がある。</li> <li>○ 放課後の子どもの預かり体制が充実。</li> <li>○ 待機児童数ゼロ</li> <li>○ 子育ての取り組みの仕掛け人が増える。</li> <li>○ 転入・転出時のアンケートで交野の子育てについて満足度(期待)が高い。</li> </ul> |
|--|--|

#### <私(私達)ができること>

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市や市内団体のホームページ等の充実</li> <li>○ SNS の開設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市内商業施設や駅などでの広報活動など。</li> </ul> |
|--|---|

## B 班：健康・福祉・人権・多文化共生系

### 笑顔が交わせるまち

○ お互いあいさつをする人が増えている。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 行き交う人が顔を見て挨拶をしている状態が日常となっている。	○ 新しく住む人と古くから住む人が交流があり会話できる。
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 趣味のサークル（集まり）をつくる。	○ 挨拶をする。

○ 住民の仲間意識が向上する。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 市民＝行政 インタラクティブな情報経路	○ 新たな「自治会」
○ 災害時に助け合える。情報共有ができる地域のつながりがある。	○ おしゃべり処のあるまち
○ 自分の安全・安心を確保した上で他の人を助けられる仕組み・体制づくり。	○ フレンドリーな町内会
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 自治会活動に参加する。	○ 災害時は地域で声かけをする。
○ 自治会に多く顔を出す。	

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 好きなこと、興味のあること、しんどいことを話せるコミュニティができた。	
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 好きなこと、興味のあること、困っていることを発信してみる。	

### つくるまちづくりから育てるまちづくりへ

○ 意見交換できる場がある。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 意見交換できる場が多くある。	○ 好きなこと、興味のあること、しんどいことを話せるコミュニティができた。
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 地元のお店を使う。	○ 場と話題の提供。

○ 市民主体のまちづくり組織や体制の整備

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 市民組織、20～40代が参画。	○ 関係人口、雇用増大
○ 行政にコンサル、コーディネーター、アントレプレナーがいる。	○ 市民主導の組織と活動。
○ 目的別、分野別市民組織（LLP）	
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 趣味グループを立ち上げる。活動する。	○ 地元の産品を使う。
○ イベントを主催し参加を募る。	

○ 産業が成長する指標がある。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 外国人労働者が増える。	○ 空き家が減る。
○ 企業数が増える。	
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 趣味グループを立ち上げる。活動する。	○ 地元の産品を使う。
○ イベントを主催し参加を募る。	

## 誰もが情報に困らないまち

○ 行政・市民・企業みんなで作る情報拠点

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 欲しい情報を調べればネットですぐに出る。(市に関すること)</li> <li>○ MaaS 完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野市発信の SNS ができる。</li> </ul>
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あまり行かない地域にも行ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野の良いところ（名所）を探す。発信する。</li> </ul>

○ 受け取れる、発信できる、両方できる仕組みがある。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野市のポータルサイトが整備されている。</li> <li>○ 高速 NW。行政、医療</li> <li>○ 電話ボックスのような場所で「音声で質問、画面に答え」の装置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好きなこと、興味あること、しんどいことを話せるコミュニティができた。</li> <li>○ 自分で調べることができない人にも情報が届き、選択できる。</li> <li>○ 「自治会」新しい。</li> </ul>
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報収集と提供。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の詳細を知る。</li> </ul>

## C 班：防災・安全・安心・住まい系

### 「コミュニケーションのまち」

#### あらゆる世代・立場の方が融合し、 気軽に話せてコミュニケーションがとれるまち

<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <p>○ 役所の人フレンドリー。</p>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <p>○ 行政の発信力 ○ 市民活動の行政バックアップが弱い。</p>
---	---

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
<p>○ 自治会の防災イベントが盛り上がる。 ○ 異世代交流ができています。(小学校で常時行われている。) ○ 自治会に入っていないくても自治会とまちの情報が伝わる。</p>	<p>○ マルシェ、カフェの開催。(月 1 回) ○ 世代を越えて交流できるボランティアカフェを公民館、自治会館で運営。 ○ 交野市の公式アカウントができた。LINE、ツイッター ○ 行政からのプッシュ型の情報発信がある。</p>

<b>&lt;私(私達)ができること&gt;</b>	
<p>○ 自治会の良いところをまとめる。伝える。 ○ 自治会・民間団体が主となり企画し、フェスなど実施。 ○ キラキラフェスタのような自治会の魅力をイベントなどで発信する。</p>	<p>○ カテゴリーテーマを正確に。 ○ 交野市の魅力を SNS で発信する。</p>

#### あらゆる世代・立場の人が寄り添い、優しく、 穏やかに見守り合っているまち

<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <p>○ 住んでる人が良い。 ○ 治安が良い。</p>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <p>○ 近場で子どもが遊べる場所がない。 ○ 市民活動の高齢化。</p>
--	---

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
<p>○ 高齢者・障がい者にも迅速に伝達できる仕組みの構築。 →防災無線のようなシステム、聴覚障がいの方は見える化。 ○ 災害時の避難場所やルールをみんなが知っている。</p>	<p>○ 防災セミナー、イベント 夫も参加できる日曜日、年 2 回 ○ 近所に住んでいる人同士が互いを知っていて、挨拶ができる関係である ○ 地域ごとの防災マニュアルがあり、地域ごとに連携している。</p>

<b>&lt;私(私達)ができること&gt;</b>	
○ 防災イベント、セミナーで地域力を発信する。	

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 空き家・古民家をコミュニケーションスペースとして利用できる。(1 戸/自治会)	

<b>&lt;私(私達)ができること&gt;</b>	
○ 地域の見守り体制を構築する。	

## アクセスが良く、交野山を身近に感じ、 安心していつまでも住みたいと思えるまち

<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <p>○ 鉄道、道路、アクセス良い。</p>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <p>○ 山手のアクセス悪い。 ○ 公共交通バスの本数少。</p>
<p><b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b></p>	
<p>○ 手をあげれば乗せてもらえる、定期的なコミュニティバス。(4回/1日)</p>	<p>○ 住民が親しみをもって利用できる通り名のある街路。(10通り) →「神宮司ぶどう通り」など。ワークショップで公募をする。</p>
<p><b>&lt;私(私達)ができること&gt;</b></p>	
<p>○ 地域でバスを運営する。</p>	<p>○ 里山保全活動 ○ 里山保全をビジネスにする。</p>

## D 班：都市環境系

### フラッと寄りたいまち

- イベントがたくさんある。
- 商店が多い。
- コミュニケーションがとれやすい。(人與人)
- SNS に載せたい。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ SNS の認知度が高い。 ○ 通勤・通学以外で来る人が多い。	○ 年間イベント数多い。
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 自分でイベントを開く。	○ フリースタイルのイベントスペースを増やす。

- 犯罪の少ないまち

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 犯罪件数が少ない。	
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 防犯カメラを各個人で設置。	○ 挨拶をする。

- 自転車が通りやすい。
- MAP とか、駅から自転車・歩いて移動。
- まち全体が楽しい。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 駅の乗降客数が多い。 ○ 行政の全力サポート体制	○ 交通満足度が高い。 ○ 小・中学校の運動場をフリースペースにする。
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 公共交通を利用する。	○ 交通機関の関係者を育てる。

### 自然を体験できるまち

- 販売機会が増える。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 物々交換のマーケットができる。 ○ 道の駅がある。	○ 農業でまちの経済起こし

- 農業への参加者が増える。

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 農地活用しコミュニケーション、イベント ○ アグリフットなまち（身近に田畑体験）	○ 有機農業を教えてくれる。 ○ 自然体験、農業を体験できる機会が多い。

- 耕作面積の維持

<b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b>	
○ 田畑が公園みたいに使える。	○ 子育てで利用できる場所が多い。
<b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b>	
○ 農業スペースをつくる。 ○ 農作物を自分で作って自分で売る。	○ 交野産を買う。

## 心の風景があるまち

○ 緑が見える割合を増やす。

### <目指すまちの姿が実現したことを確認する方法>

- |                |         |
|----------------|---------|
| ○ 自然景観・都市景観 調和 | ○ 街路樹の数 |
|----------------|---------|

○ スポットが増える。

### <目指すまちの姿が実現したことを確認する方法>

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ○ 景観ナイススポット（イス等）を増やす。 | ○ 古民家リノベして存在。     |
| ○ 景色を見るスポットがある。       |                   |
| ○ 田畑が公園みたいに使える。       | ○ 子育てで利用できる場所が多い。 |

### <私（私達）ができること>

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| ○ 映えポイントを探す。        | ○ 自分が良いと思う景観を SNS で共有する。 |
| ○ 自分の好きな風景や写真を発表する。 |                          |

## E 班：自然・文化・歴史・生涯学習系

### あらゆる人がいきいきと活動できるまち

<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多彩な人材が豊富</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域による利便性の格差</li> </ul>
<p><b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動団体が増える。</li> <li>○ いろいろな活動グループのイベント報告や案内が市民に知れわたる。</li> <li>○ 住んでいるまちを語れる。</li> <li>○ イベントの参加者が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動ジャンルが多彩。</li> <li>○ コミュニティが成立する「心の安心」</li> <li>○ 投票率が上がる。(イベントへの参加率)</li> <li>○ 市民団体の活動が活発になる。</li> <li>○ 子育て世代が増える。</li> </ul>
<p><b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野マーケット（あらゆる物）を開催する。</li> <li>○ まず自分が生き生きする。</li> <li>○ 小さなお手伝いでもいいので、できることはやる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域へのボランティア活動への参加。</li> <li>○ 朝の声かけ。「おはようございます」</li> <li>○ 活動基盤の整備。</li> </ul>

### 市と市民が思いを共有できるまち

<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民活動が活発。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縦割り行政</li> <li>○ 市民・市役所の感覚のずれ。</li> </ul>
<p><b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ SNS を用いた情報発信。</li> <li>○ 市民活動の活性化と連携。</li> <li>○ 市の施策を応援・協力してくれる市民（団体）がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民の満足度が高い。</li> <li>○ 市民がこうなってほしいまちの姿が市の目指す姿と一致している。</li> </ul>
<p><b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月々、テーマを。</li> <li>○ 環境日（市独自）の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 続けること、声を上げること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民の方から聞いた声・意見を共有する。</li> <li>○ アイデアを出す。提案する、形にする。</li> <li>○ わかりやすい情報発信を。市民が知りたい情報にアクセスしやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡窓口「〇〇→SOS」「〇〇→110」</li> <li>○ 定期的に市民意見交換の会を開く。</li> <li>○ 声を出し、仲間を増やす。</li> <li>○ 市民団体のネットワークづくり</li> </ul>

### 環境を活かすまち

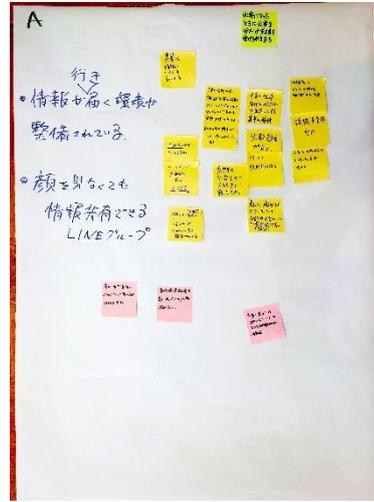
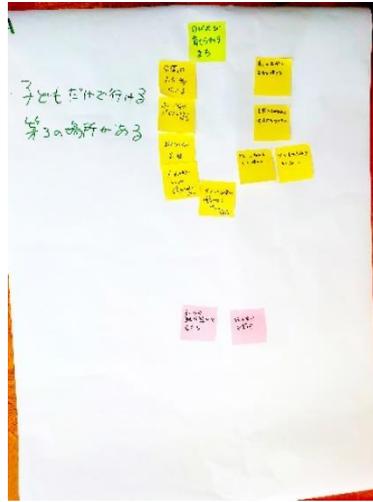
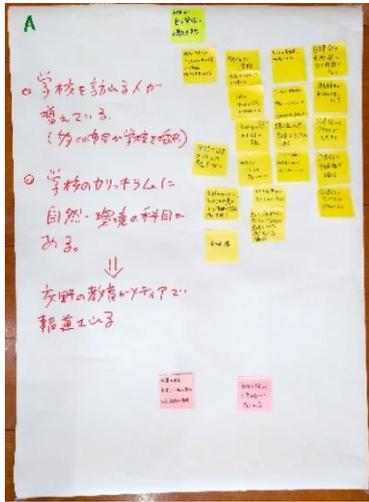
<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の良いところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野の環境を愛している人が多い。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>&lt;交野の残念なところ&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然が失われている。</li> </ul>
<p><b>&lt;目指すまちの姿が実現したことを確認する方法&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名物をつくる。</li> <li>○ 山が元気になる。</li> <li>○ 良い環境の中でしか生育しない動植物がいる。</li> <li>○ 子どもたちが農業の楽しさを知る。</li> <li>○ 子どもたちが公園や自然の中で生き生きと遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先進的な取組、環境をテーマ 例) EVバイクの導入</li> <li>○ それを PR して他市から人を呼び込む。</li> <li>○ 交野の魅力を市民が発信して共有する。</li> <li>○ 環境を守る団体が増える。</li> </ul>
<p><b>&lt;私（私達）ができること&gt;</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交野の魅力発信デーにフォトを共有する場を設ける。</li> <li>○ 交野の環境を情報発信できる範囲で。</li> <li>○ お礼の声かけ。「ありがとうございます」</li> <li>○ 交野環境連絡協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境を意識する。</li> <li>○ ごみ拾い。</li> <li>○ 身近なエリアでのごみ拾い。</li> <li>○ 里山募金</li> </ul>

### 3 今後の予定

○次回日時：12月25日(土)10:00~12:00、場所：交野市役所別館3階中会議室

テーマ：私（私達）ができることを考えましょう！

#### 【A班】



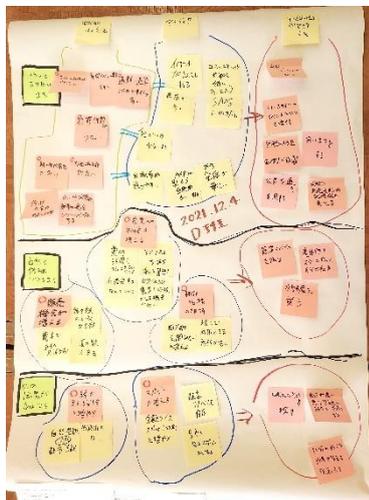
#### 【B班】



#### 【C班】



#### 【D班】



#### 【E班】



## ■ 第4回市民ワークショップふりかえりシート（参加者アンケート）の結果 ■

### 1. 本日のワークショップで発見したことやおもしろかったことをお書きください。

- ・ どの目指すまちにおいても、行政だけ、市民だけということではなく相方で行うことだと改めて実感した。ただ具体的に自分でできることを考えた際には意見は出にくかったが、様々な分野の方の考え方を聞くことで新しい発見になった。
- ・ 具体的な意見が出てくると、それに対する色々な意見が繰り上げられていく過程が勉強になった。
- ・ 思いがけない発想や発見がありおもしろかった。
- ・ 色んな立場の人、世代の人が集まれる企画案をたくさん聞くことができ、勉強になった。
- ・ 確認する方法でひとり一人のおもしろいアイデアが出てきたのがおもしろかった。
- ・ 自分が住む市について少しでも知れたことが新しかった。
- ・ 新しい意見や提案を聞くことができとても刺激になった。
- ・ 休んでいる方で意見を事前に出していたことに驚いた。たくさんの意見が出て、良いワークだった。
- ・ 地域で活動している方のリアルな困り事などが聞けたことは、とても有意義だった。それをできることや状態に反映できたこともよかったと思う。
- ・ 子育てするにあたって必要な情報、リアルな声を多く聞けた。同時に上記に重要となってくる環境について深い話を聞くことができた。
- ・ 交野は自治会がとてもがんばっていることがよくわかった。ただ、どうしても加入者と非加入者間で情報を共有しにくいようなので、市の広報誌やホームページなどで情報共有のサポートがあるとよいのかなと思った。
- ・ 行政だけでなく、市民（自治会）と連携して、交野市の将来を形づくっていくのがワークショップで実感できた。
- ・ 各チームの目標や視点が全体を通して同じ方向に集約されている。
- ・ すべての班に共通して「情報発信」「SNS」というキーワードが出てくるなと思った。
- ・ 各班で共通するポイントがあり、それが根本的な要因になるなと感じた。
- ・ 新たな自治会
- ・ フレンドリーな自治会
- ・ どんなコミュニティなら参加できるか、参加したいか、ニーズを探ることが大事だと思った。
- ・ 私たちができることは今日からでも実行したいと思う。
- ・ 意見の内容が深まるにつれて、グループワークの時間が足りなくなってきた。
- ・ まとめる時間が足りなかった。

### 2. 今後のワークショップに期待することをお書きください。

- ・ 最終回では出てきた案に磨きをかけられるようにしたい。
- ・ 次回のまとめでどうまとまるかが楽しみだ。
- ・ 具体的な政策に落とし込めるとよいなと思った。

- ・ より具体的な内容まで落とし込める進め方ができたらなお良い。(いつも抽象的な話で盛り上がり、そこから具体化の話になる前にタイムアップになる。)
- ・ 参加するグループの市民の方と職員とのさらなる関係強化。
- ・ 交野が好きなのでさらに良いところにしていきたい。
- ・ 現在のメンバーで深い議論ができる時間を確保してほしい。

### 3. その他のご意見やご感想

- ・ 市民の活動に依存しない。(WIN-WIN の構築)
- ・ 市民の思い、アイデア、活動をキャッチする、それをコーディネートする力。
- ・ 行政に求めるもの→発信力 (SNS の活用)
- ・ 感じるころは多いが、実際できること (現在できているところ) の差は大きい。これまで交野市で活動した感想。
- ・ 参加される市民の方が少なかったため、どこまで意見を発信していけばよいのかバランスを考えるのが難しかった。
- ・ とても良い学びをすることができた。今後の活動に活かしていきたい。
- ・ 班ごとにテーマが異なるので聞くときの集中力が少し変わった。(減ったかも)
- ・ 最後の発表 (プレゼンテーション) のコツ (時間内に要点をまとめ) を予め理解して発表できるようにできれば良いだろう。
- ・ 1回目から4回目があったが、私は2回目から参加しており、回を増すごとに内容が濃くなるので、頭の整理をしながら、前のことを思い出しながらとなると、10回くらいにしないと時間が足りない。
- ・ 発表時間は5分の方がよいかもしれない。
- ・ あっという間であった。時間が足りないと感じた。
- ・ 時間がやはり足りない。
- ・ 時間が足りない。
- ・ 前回の感想、ビジョンの種カード、参加人数に応じて丸シールの数を決めたらよいと思った。